

教職大学院入学志願者に求められる研究計画書の作成について（参考）

（以下の通りに作成しなくても不合格とはなりませんが、研究計画書に表現する内容を検討する際の参考情報として提供するものです。）

教育実践に関する研究計画を、以下の構成例を参考に、600～800字程度で作成します。

1. 問題の所在とその背景

（所属を希望する SP の研究分野にとって課題であることを客観的に記述する）

2. 研究目的

（上記の問題に対して、大学院での研究で明らかにしたいことを記述する）

3. これまでの研究

（これまでの自分の研究や実践の成果、先行研究の関係について記述する）

4. 研究計画

（大学院で行う研究の内容と方法を順に記述する。必ずしも、日程・スケジュールは必要でない）

5. 引用文献または参考文献（主なものを1、2点）

なお、大学院で指導を希望する担当教員*に、できるかぎり入試志願前に連絡を取り面談するなどして、研究計画書が教職大学院在学中に実施可能かどうかのコメントを得ることと、入試に合格後、入学するまでに準備する事柄についてアドバイスをもらうことで、研究の実現可能性を高めることを勧めます。

*担当教員は以下のホームページで確認できます。

<https://www.saitama-u.ac.jp/edu/grad/master/information/subprogram/>